

令和3年6月30日

学校だより



7月号

横浜市立美しが丘東小学校
学校長 佐治 秀朗

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/es/utsukusigaokahigashi/>

ギガ開きとけんこう会議

校長 佐治 秀朗

校庭の花壇の紫陽花も少しずついろいろを変えながら、いよいよ7月を迎えようとしています。5月29日（土）実施の運動会や6月19日（土）実施の授業参観はいずれも分散形式の開催となりましたが、ご理解をいただき多くのご家庭に参観していただき誠にありがとうございました。子ども達にとって大きな励みになったことと思います。

さて、6月も様々な行事がありましたが、その中のギガ開きとけんこう会議についてお伝えしたいと思います。ギガ開きは6月14日（月）のギガ開き朝会を皮切りに、学年ごとに集会を開きました。各自専用のiPadとアカウントを用いて、ロイロノート・スクールのアプリをインストールし、使い方や使用上の決まりについて学びました。当日は学年職員以外に保護者のボランティアの方々やICT支援員の方にもお手伝いをいただきました。

これからは学年に応じて、各自がiPadを使用した学習が始まりますが、決まりや使い方に慣れるまでは紆余曲折も予想されます。ただ子ども達にきいてみると、今までにiPadを利用した経験のある児童の割合は高く、興味を強くもってiPadを操作している姿をみていると、大人よりもすんなりとなじめそうな状況です。

また、同じ週の6月18日（金）の放課後、内科校医の有本 寛先生をお招きして、今年度第1回けんこう会議を実施しました。けんこう会議は学校保健法の法律上の名称は学校保健委員会とよばれるものです。本校では、子どもたちが内容を理解しやすいように、「けんこう会議」の名称をずっと用いています。本校の今年度のけんこう会議のテーマは「病気に負けないからだづくり」で、そのためにクラスごとに具体的なクラス目標について話し合いました。会議では、それぞれの目標について高学年は保健委員の児童が、中学年は健康委員の児童が、低学年は学年所属の先生の発表がありました。発表は練習の成果か、児童のだれもが原稿を見ることなく堂々とスピーチで発表することができ、大変素晴らしく感じました。

校医の有本先生からは先生が感染症の専門家であることから、コロナウィルスの感染症対策についても丁寧なお話がありました。コロナ感染の約8割は飛沫感染であることから、やはり正しいマスクの着用が感染対策として有効であること、約2割が接触感染と考えられることから手の消毒や手洗いの徹底が大切であり、汚れた手で顔を触らないことが大切であること等についても、あらためて教えていただきました。今回のけんこう会議をきっかけにして、病気に負けないからだづくりのために何をすればよいのか、一人ひとりがよく考えたり学んだりして、実践として取り組んでほしいと思いました。ぜひご家庭でも、ギガ開きやけんこう会議等についても話題に上せていただければと思います。